

# 甲武信ヶ岳山行記

6/1 土

絶好の登山日和に恵まれ、いざ甲武信ヶ岳へ！

## タイムテーブル

|        |   |     |     |   |     |        |   |     |         |
|--------|---|-----|-----|---|-----|--------|---|-----|---------|
| 毛木平駐車場 | ← | 90分 | ナメ滝 | ← | 50分 | 千曲川水源地 | ← | 45分 | 甲武信ヶ岳山頂 |
|--------|---|-----|-----|---|-----|--------|---|-----|---------|

今回の山行は、富士山麓一周を共に歩いた山ガールたちとの再会のために企画しました。当初は、シヤクナゲを見ようと十文字峠からの周回を計画していましたが、既に見頃を過ぎていたため、このルートを選びました。水源地までは急登はないものの、長い道なのです。

## 苔むす森



日光が木々に遮られ湿気の多い環境が保たれているのか、石には苔がびっしり生えている。

## ナメ滝



岩肌を滑るように水が流れ落ちるナメ滝。水源地までの登山道は千曲川に沿って続いている。

## 三峯神社への道標



道祖神のような石の道標には「右ハ山道」「左ハ三峯」と書かれている。秩父の三峯神社へと続く参詣道でもあったのだ。

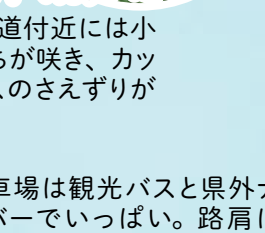
## シロバナノヘビイチゴ



## キバナノコマノツメ



## ミヤマカタバミ



樹林帯の登山道付近には小さな山の花たちが咲き、カッコウやウグイスのさえずりが聞こえる。

駐車場は観光バスと県外ナンバーでいっぱい。路肩に駐車している車も。

## 毛木平駐車場を出発

標高 1460m



## ベニバナイチヤクソウがお出迎え



毛木平駐車場に向かう林道脇は群生地。



標高  
2475m

山頂

甲武信ヶ岳は、その名の通り、山梨、埼玉、長野の三県にまたがっています。頂上に降った雨は、笛吹川から富士川となって太平洋へ、荒川となり東京湾へ、千曲川から信濃川となり日本海へ流れていきます。三つの水系の総流域の長さは延べ712.5キロメートル。「その頂に立ちたい」という思いは、山好きなら誰しも抱くのではないでしょう。夜中までは土砂降りでしたが、朝からは素晴らしい天気で、遠くの山並みを見渡すことができる絶好の登山日和でした。次回は同じメンバーで富士山頂を目指します。

## 国師・金峰への分岐点



水源地から尾根に上がったところにある分岐。ここまで来ればもう少し。

## 水源地

小さな泉にひっそりと湧く水は、少し先で音を立てて流れ始め、日本一長い川になる。

標高  
2200m



## イワカガミ



山頂近くの石の影などにあるピンクのかわいい花。



## 源流標木の物語

この源流標木が設置されたのは昭和53年。当時長岡市長だった小林孝平氏を会長とする実行委員会が信濃川・千曲川・犀川治水百年記念事業のひとつとして行った。村長であった由近江氏（現村長の父）が揮毫した「千曲川信濃川 水源地標」の文字を油井久安さんが樺の木に刻んだ。「依頼が来たのは3月だったなあ」と振り返る。当時大工をしていた久安さんに、白羽の矢が立てられた。太くて堅い樺の柱に文字を刻むために、専用の道具を買い揃えて臨んだという。文字が書かれた紙を柱に貼り付け、刻んでいく。彫ったところをガスバーナーで焼いて炭化させ、くぼませてから白いペンキをたつぷりに入れて込むように塗る。仕事を始めてから10日ほどで仕上げられた。「仕上げてからも大変だったんだ」と久安さん。現場にはヘリコプターで吊り上げるしかない。傷がつかないように厳重に梱包し、梓山の広い場所から飛び立った。ところが縦に吊った柱が木に引っかかってうまく運べず、一度戻って横に吊った。水源地は樹林帯だから下ろせない。尾根まで飛んで柱を落とし、地元建設業の職人さんたちが水源地まで運んだそう。自然保護の観点からコンクリートも使わず、深く掘った穴に柱を立てて、この標木が完成した。この年の7月30日には、新潟・長野両県から約100名が参加して現地で記念式典が催された。それから46年、標木は今もしっかりとその役割を果たしている。



この標本を刻んだのは  
油井 久安 さん(樋沢)



# 自然観察長野 in 川上村

6/9日

自然観察指導員長野県連絡会（自然観察長野）が、指導員のレベルアップと交流を目的に県内各地で観察会を開催している。今回は田中弓美子さん（御所平）が幹事で、主に川上村毛木平周辺を散策しながら観察した。

## 自然への好奇心をより深く

今回の観察会に参加したのは10名で、佐久や軽井沢、遠くは大町、長野、伊那などから来られました。毛木平の森の中に入るとすぐにあちこちで観察が始まりました。ちょうどエゾハルゼミが盛んに鳴いていて、近くの木には抜け殻がいっぱい。下界ではとつくに終わっているウワミズザクラに感激したり、サルオガセがたくさん育つ環境を考えたり、教えてくださる方との散策は一步步進めば違う観察対象に出会える密度の濃い時間でした。最後にベニバナイチヤクソウのスポットに行くと「わー、こんな群落見たことない！」と感激し、盛んにシャッターを切っていました。

### エゾハルゼミの抜け殻



薄緑の糸状のものはサルオガセ（地衣類）。

### これが桜!?

#### ウワミズザクラ



### 甲武信ヶ岳を知る



毛木平駐車場の東屋には甲武信ヶ岳と周辺の山々のトレッキングについて情報提供しているボードが。

### 林業センターでトロッコを見学



かつて川上村の主要産業だった林業について紹介。天カラにも興味津々の皆さん。

### サナギ発見!



橋の欄干に下がったサナギ。どんな蝶になるのやら。

### サルナシの木



サルナシの葉が白くなるのは、花の存在を虫に知らせるためだと説明してくれました。

### ベニバナイチヤクソウに感激!



林の奥まで群落が広がるベニバナイチヤクソウ。小さな花に雫がついた姿は宝石のよう。



### 最後は川上犬に会いに!

藤原忠彦さん宅で3頭の川上犬を見せていただきました。

# 川上村の素顔

第51回



クライミングショップ

ROOF ROCK

北平 友哉 さん

2015年パタゴニア クライミング長野・川上がオープンし、2017年にカラファテへ引き継がれ、2023年に閉店となりました。小川山、瑞牆山へ通う多くのクライマーから愛された大切なこの場所を残していくため、クライミングショップ「ROOF ROCK」をオープンした元カラファテ川上店スタッフの北平友哉さんに、創業に対する想いと展望、クライマーとしての挑戦について伺います。

（編集部：以下編） ルーフロックのオープンおめでとございます。

ありがとうございます。わずか半年余りでここまで漕ぎ着けるのに随分バタバタしました。

（編） 自分で店舗を構えるのが夢だったんですか？

いえ、違います。カラファテ川上店で仕事を始めたのは、日本で指折りの小川山と瑞牆山で腕を磨きたかったからです。そのためには近くに住む（＝仕事を見つける）のが一番だと考えたからです。

（編） ではなぜ開業を？

2023年でカラファテ川上店の閉店が決まったとき、店がなくなることに寂しさを覚えました。そこで自分で開

業して店舗を運営していこうと思いました。

（編） 思い切った決断ですね。開業にあたっての不安はありませんでしたか？ 北平さんは奥さんと2人のお子さんがいいますが反対はされなかったのでしょうか？

不安はありません。ただ、ワクワクもありました。不安4割、期待とワクワクが6割といったところでしょうか。奥さんには怒られたと思います。ただ自分は動き出したら止まらないタイプの人間で、ある程度頭の中ででき上がった状態で奥さんに報告していました。

（編） 事後報告ですね（笑）。これから目標を教えてください。

川上村の村民の皆さんに小川山・クラ

ROOF ROCK で開催されたイベント。熱さが伝わります。



イミングの魅力を伝える活動を行なっていきたいです。また、2022年にアメリカのワイドクラックの最高峰「センチュリークラック」に挑戦しましたが、登りきれず断念。今年もチャレンジの予定で、当面の目標はこの2つです。

「Century Crack」で巨大な岩に挑む北平さん。



川上村の赤ちゃん

New Face ニューフェイス

すくすく元気いっぱいな  
赤ちゃんをご紹介!!



抱っこ大好き!!

由井 陽来 ちゃん

御所平

誕生日  
02/03

(保護者：将輝・聡美)

親御さんからひと言

太陽のように明るくあたたかい未来が訪れ、大きく羽ばたいてくれるように願いを込めて名づけました。



早くお兄ちゃんと  
遊びたい!!

吉澤 芽吹 ちゃん

樋沢

誕生日  
03/05

(保護者：真志・百合華)

親御さんからひと言

自分自身の芯を持ち、ぶれない心で芽を咲かせてほしいと名前をつけました。周りの人が笑顔になれるような、素直で優しい子に育ててね。



お兄ちゃん、お姉ちゃんか  
わいがってくれます♪

森泉 寛弥 ちゃん

大深山

誕生日  
02/15

(保護者：和・和菜)

親御さんからひと言

優しく穏やかで思いやりがある人になってほしいという願いを込め、名づけました。抱っこするとおしゃべりしたりニコニコ笑ったりしてくれます。ニューフェイスです♥



みんなの顔が見えると  
うれしいんだ〜♥

小林 すみれ ちゃん

梓山

誕生日  
02/28

(保護者：忍・楓)

親御さんからひと言

末っ子長女、驚くほどにぎやかな兄たちからの愛も受けながら、癒しオーラを家中に放ってくれています。どんな場所でもしっかり地に足つけて、自分らしい花を咲かせてほしいと願っています。あたたかく大きな心で、これからも周りを笑顔にしていってね☆

## 動物バトフリー

井出 純一さん 宅 (原)

■ とら吉 (♂)

日当たりのいいウッドデッキにひかれて、ぼくがこのお家に来たのは何年前のことだったろう？パパもママもとってもかわいがってくれるから、幸せなんだ。最近はママのバッグや、いろいろな箱に入るのがお気に入り。キャットタワーからいつも2人の帰りを待っているとら吉なのです。 とら吉



来たばかりのころ、小さかったとら吉。



安心して眠る姿に癒されます。



お気に入りのタワーの上で。



早く帰って来ないかな〜。

## ロープレスキュー国際大会

### 「グリーンプジャパン」に参加して

佐久広域連合消防本部

由井 貴 啓



チームのワッペン

## ロープレスキュー

### 標準化を目指して

令和4年に佐久広域連合消防本部の職員で、ロープレスキューチーム「8ピークス」を立ち上げました。川上村には「日本のヨセミテ」と呼ばれる小川山のクラ

のロープレスキュー国際大会「グリーンプジャパン」が始まりました。自然地形や陸上競技場を使い、1チーム7名で救出時間や、要救助者への配慮や安全性を競います。海外からの注目度も高く、スペイン、中国、韓国等からも参加しています。

結果は28チーム中21位でした。世界王者の「9PM」と隣同士で想定をやる機会がありました。悔しい気持ちはありますが、それ以上にわたしたちが今までしてきたことは間違っていないと自信を持つことができました。現在、救助技術において、自分たちが世界的に見てどのあたりに位置しているのか明確にわかり、これから何が必要なのか、チーム内でしっかり確認できました。1歩1歩確実に技術を身に付け、数年以内に世界に挑戦したいと思っています。

間違いないこの技術が必要です。倒壊している高層建物や、地上から進入困難な場所から要救助者を救出するには、ロープレスキューしかありません。

今の日本は、災害が起きてからでないと資機材や新しい技術に変わっていきません。阪神淡路大震災を経験した兵庫消防は東日本大震災で多くの人を助けました。東日本大震災の緊急援助隊で仙台に行ったとき、兵庫消防の資機材や人員の多さには驚いたことを今も覚えています。経験したからこそできることはたくさんあるし、その経験で多くの人を救うことができると思います。しかし、そのとき被災した人にとっては、次はないかもしれません。必ず起こるといわれている災害だからこそ、準備することが大事だと思います。

消防車両が走行しているところを目にした方も多いと思います。消防署の勤務時間内には、ロープレスキューの訓練だけに時間を使うことはできません。山岳救助事業やロープを使った救助事業に対応するために、消防職員有志で資器材を購入して、休日を使ってトレーニングを始めました。

令和6年3月に大阪府吹田市で開催された「グリーンプジャパン2024」に我々「8ピークス」が出場しました。万博公園や陸上競技場などを使い、3日間で12想定(※)を実施しました。斜めに張った70メートルのロープを上ったり、宙つりの要救助者を指定されたポイントに救出したり、どれもハードな想定でした。スタートの数分前にリーダーだけが集められ、想定を与えられます。実災害と同様にリーダーの救助計画を隊員に伝えるところから競技は始まり、タイムが計測さ

れます。チーム内の共通言語・共通認識を持つて活動する重要性、それは救急活動や消火活動も同様だと強く感じました。また、国際大会で想定意图を正確に読み取るには語学の勉強も必要だと感じました。

「8ピークス」は年齢に関係なく気づいたことを言い合い、共有できるチームです。楽しく学び続けていきます。今は小さな1歩かもしれませんが、この1歩を多くの人と共有することでよりよい活動に繋がると信じています。要救助者を要救助者にとって大切な人の元へ、1秒でも早く返すために、自分たちらしく進んでいきます。

そのころ、中国・四国地方のロープレスキューチーム「9PM」が世界一になったり、アジア圏の国際大会で日本チームが表彰台を独占したりと、日本のロープレスキューが世界から注目を集め始めました。「ロープレスキュー標準化」を目標に掲げ、日本のロープレスキューをチームアップするために「9PM」チームリーダーの林田さんを中心に日本国内で



屋上から2階まで、自力では動けない要救助者を降ろす想定。

## 南海トラフや

### 首都直下型地震に備えて

※当該レスキューの「お題」といえるもの。要救助者がいる場所、意識の有無、移動先などの条件設定。

数年以内に必ず起きると言われている首都直下型地震や南海トラフ地震には、



## 川上の林業を支えたトロッコ



川上村では、明治から昭和30年代まで、林業や落葉松苗の生産などが盛んに行われ、村を支える産業となっていました。その中で、村内には多くの製材工場が設置され、木材産業も近代化されていきました。大正9年には、トロッコ敷設のための契約がなされ、梓久保(現在町田市の休暇施設付近)から御所平まで、木材を運ぶためのトロッコが走るようになります。途中、金峰山川を渡る吊り橋や、沢を渡る橋などがあり、その規模の大きさがわかります。緩い勾配で御所平に向かって下っていくトロッコの速度調整は、滑車とロープで作られたブレーキを人が操作して行っていました。木材とともに犬(川上犬より大型だったそう)を乗せ、帰りは犬がトロッコを引っ張って戻ったそうです。大きな木材会社が進出するなど、川上村の林業は昭和中期にかけて大きな発展を遂げました。現在も、森の交流館樹木里横にトロッコが展示され、千曲川左岸など数カ所ではトロッコ軌道敷の跡を部分的に見ることができます。



毛木平駐車場奥に見られるトロッコ軌道敷跡。



草に覆われ見えにくい、かわかみ保育園近くの軌道敷跡。

## 戸籍の窓口

4月1日～5月31日受付

お誕生おめでとうございます

古原 旭 あさひ 啓伸 美香

お悔やみ申し上げます

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 井出 郁夫  | 91歳 | 原   |
| 新海 忠義  | 80歳 | 原   |
| 林 勝    | 86歳 | 秋山  |
| 吉澤 トヨ子 | 86歳 | 御所平 |
| 林 喜博   | 76歳 | 秋山  |
| 今井 大貴  | 56歳 | 樋沢  |

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

## 公民館の動き

5月9日 スポーツ推進委員会

5月10日 館報編集委員会

5月25日 歩け歩けの集い

## 【訂正とお詫び】

5月号令和6年度各種団体役員名簿の若妻会の名簿に誤りがありました。正しくは副会長 関 愛さんです。訂正しお詫びします。

## 一喜一憂

前号より連載が始まったマンガ「そうすら源ジイ」、楽しんでいただけていますでしょうか? この漫画は読んでいた通り、川上村の方言をテーマにしています。

編集委員会には、生粋の川上人、他県出身者、Uターン者など多彩なメンバーが揃っており、編集会議では誰もが知る方言からマニアックなものまで、さまざまな方言が飛び交う興味深い議論が繰り広げられています。

当初は三世代同居の家族を主役にする予定でしたが、方言の意味を伝える固定キャラクターの方がよいという意見が一致し、川上犬の源ジイ(名は源流に由来が誕生しました。レタ助よりだいがお兄さん? ですが、親しんでいただけるとうれいいます。

またこのマンガが家族内や職場での話題となり、みなさまに楽しんでいただければ幸いです。取り上げて欲しい方言やその方言にまつわるエピソードなども募集中です。今後とも「源ジイ」をどうぞよろしく願います。

(M)

## 【村 勢】

総面積 209.61km<sup>2</sup>

世帯数 1,175世帯

総人口 3,437人

男 1,785人

女 1,652人

(5月31日現在)